

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	精神医学		
担当教員	遠藤 健一郎		
学年	2年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】、【補助診断】、【精神障害各論】、【精神科医療の法律】、【精神科包括治療】の六つの柱で構成される系統的な講義により、将来、精神科専門領域で仕事をすることは限らない理学療法学科や作業療法学科の学生が、臨床実践で必要とされる精神医学的な基礎知識を身につける。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】精神症状①</li> <li>2. 【精神障害における症状】精神症状②</li> <li>3. 【精神障害における症状】精神状態および高次脳機能障害、【補助診断】</li> <li>4. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害①</li> <li>5. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害②</li> <li>6. 【精神障害各論】精神作用物質による精神および行動の障害</li> <li>7. 【精神障害各論】統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害</li> <li>8. 【精神障害各論】気分(感情)障害</li> <li>9. 【精神障害各論】神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害</li> <li>10. 【精神障害各論】生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群</li> <li>11. 【精神障害各論】成人のパーソナリティおよび行動の障害</li> <li>12. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学①</li> <li>13. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学②、【精神科医療の法律】</li> <li>14. 【精神科包括治療】身体的治療</li> <li>15. 【精神科包括治療】心理社会的治療、リエゾン精神医学</li> </ol>		
教科書	『学生のための精神医学』 【著者】太田保之 (医歯薬出版)		
参考書			
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	一般臨床医学		
担当教員	藤井 昌江		
学年	2年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	検査データ(検査値)をさまざまな病気と関連付けて評価できること。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査の基礎知識</li> <li>2. 病理検査</li> <li>3. 免疫系検査</li> <li>4. 感染症系検査・細菌培養権検査</li> <li>5. 糖質系検査</li> <li>6. 脂質系検査</li> <li>7. 遺伝子関連検査</li> <li>8. 腫瘍マーカー検査</li> <li>9. 循環器系の機能検査</li> <li>10. 呼吸器の機能検査</li> <li>11. 血液型・血球算定・血液像検査 凝固・線溶系検査</li> <li>12. 肝・胆道系検査 タンパク系検査</li> <li>13. 酵素系検査</li> <li>14. 尿検査 腎機能検査 電解質・金属系検査</li> <li>15. 内分泌系検査</li> </ol>		
教科書	『看護に役立つ検査事典』【著】野中廣志（照林社）		
参考書	『見ておぼえる心電図のえほん』【監】遠藤明太（照林社） 『看護アセスメントにつながる検査データの見かた』【編】山中克郎 他（照林社） 『まるごと図解 呼吸の見かた』【著】長尾大志（照林社）		
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	整形外科科学		
担当教員	濱藤 春暉		
学年	2年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で多くみられる疾患を中心に、整形外科疾患の発生機序・診断・治療の基礎的な知識を理解する。また、運動器の理学療法の基盤となるようにそれぞれの疾患の知識を定着させる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション・骨、関節の構造、病態生理</li> <li>2. 整形外科診断学(X線、MRI)</li> <li>3. 外傷総論、組織の修復過程</li> <li>4. 肩関節疾患①</li> <li>5. 肩関節疾患②</li> <li>6. 肩関節疾患③</li> <li>7. 肘関節疾患①</li> <li>8. 肘関節疾患②</li> <li>9. 肘関節疾患③</li> <li>10. 手関節疾患①</li> <li>11. 手関節疾患②</li> <li>12. 手関節疾患③</li> <li>13. 末梢神経障害(上肢①)</li> <li>14. 末梢神経障害(上肢②)</li> <li>15. 慢性関節疾患(退行性・代謝性)</li> </ol>		
教科書	『標準整形外科科学』【編】中村利孝（医学書院）		
参考書	『整形外科学テキスト』【著】高橋邦泰、芳賀信彦（南光堂） 『整形外科手術後療法ハンドブック』【著】片田重彦（南光堂） 『STEP整形外科(STEP Series)』【監】高橋正明（海馬書店）		
評価方法	筆記試験・出席状況		
備考	範囲が広いため、予習・復習を行ってください。		

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	神経内科学		
担当教員	佐近 隆二		
学年	2年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で遭遇する神経疾患の原因・病態生理・神経症候・検査について学ぶ。 脳神経の構造・機能を基礎として、疾患・障害の理解することを目標とします。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳血管障害の病態</li> <li>2. 脳幹の構造と症候</li> <li>3. 小脳の構造と症候</li> <li>4. 大脳の構造と症候・視床</li> <li>5. 大脳の構造と症候・基底核</li> <li>6. 小括</li> <li>7. 大脳の構造と症候・前頭葉</li> <li>8. 大脳の構造と症候・頭頂葉</li> <li>9. 大脳の構造と症候・後頭葉</li> <li>10. 大脳の構造と症候・側頭葉</li> <li>11. 大脳の構造と症候・他</li> <li>12. 小括</li> <li>13. 認知症</li> <li>14. 認知症</li> <li>15. まとめ 国試対策</li> </ol>		
教科書	『標準神経病学』【編】栗原照幸 他（医学書院）		
参考書	『理学療法テキスト神経障害理学療法学Ⅱ（15レクチャーシリーズ）』【編】石川朗（中山書店） 『系統理学療法学 神経障害系理学療法学』【著】丸山仁司（医歯薬出版）		
評価方法	授業態度、課題への取り組み、出席状況、期末試験などを含め、総合的に評価する。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年																														
科目名	作業療法評価学 I																																
担当教員	佐近 隆二・熊野 巴之																																
学年	2年	学科	作業																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	作業療法に必要な評価の目的、方法を学び、理解することを目標とする。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション、形態計測</td> <td>16. ROM 頸部</td> </tr> <tr> <td>2. ROM ROMとは</td> <td>17. ROM 体幹1</td> </tr> <tr> <td>3. ROM</td> <td>18. ROM 体幹2</td> </tr> <tr> <td>4. ROM</td> <td>19. ROM まとめ</td> </tr> <tr> <td>5. ROM</td> <td>20. 実技試験</td> </tr> <tr> <td>6. ROM</td> <td>21. 知覚検査</td> </tr> <tr> <td>7. ROM</td> <td>22. 反射反応・筋緊張検査</td> </tr> <tr> <td>8. 実技試験</td> <td>23. 協調性検査</td> </tr> <tr> <td>9. ROM</td> <td>24. 脳神経検査</td> </tr> <tr> <td>10. ROM</td> <td>25. 協調性検査</td> </tr> <tr> <td>11. ROM</td> <td>26. FIM</td> </tr> <tr> <td>12. ROM</td> <td>27. FIM</td> </tr> <tr> <td>13. ROM</td> <td>28. FIM</td> </tr> <tr> <td>14. ROM</td> <td>29. FIM</td> </tr> <tr> <td>15. まとめ 国試対策</td> <td>30. FIM</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション、形態計測	16. ROM 頸部	2. ROM ROMとは	17. ROM 体幹1	3. ROM	18. ROM 体幹2	4. ROM	19. ROM まとめ	5. ROM	20. 実技試験	6. ROM	21. 知覚検査	7. ROM	22. 反射反応・筋緊張検査	8. 実技試験	23. 協調性検査	9. ROM	24. 脳神経検査	10. ROM	25. 協調性検査	11. ROM	26. FIM	12. ROM	27. FIM	13. ROM	28. FIM	14. ROM	29. FIM	15. まとめ 国試対策	30. FIM
1. オリエンテーション、形態計測	16. ROM 頸部																																
2. ROM ROMとは	17. ROM 体幹1																																
3. ROM	18. ROM 体幹2																																
4. ROM	19. ROM まとめ																																
5. ROM	20. 実技試験																																
6. ROM	21. 知覚検査																																
7. ROM	22. 反射反応・筋緊張検査																																
8. 実技試験	23. 協調性検査																																
9. ROM	24. 脳神経検査																																
10. ROM	25. 協調性検査																																
11. ROM	26. FIM																																
12. ROM	27. FIM																																
13. ROM	28. FIM																																
14. ROM	29. FIM																																
15. まとめ 国試対策	30. FIM																																
教科書	『標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学』【監】岩崎テル子 他（医学書院） 『ベットサイドの神経の診かた』【著】田崎義昭・斎藤佳雄（南山堂） 『運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢』【著】林典雄（メジカルビュー） 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop（メジカルビュー） 『PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学』 【編】潮見泰藏・下田信明（羊土社）																																
参考書	随時紹介																																
評価方法	出席状況、授業態度、実技試験および筆記試験																																
備考	評価器具の購入(メジャー・打腱器・角度形(ゴニオメーター))																																

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	身体障害作業療法学Ⅰ(運動器)		
担当教員	濱藤 春暉		
学年	2年	学科	作業
単位数	5単位	時間数	150(30)時間
学習目標	運動器疾患を治療するにあたり、骨・関節・筋の知識は必須である。 この講義では、人の身体に触れる・操作するという基本的な技術を学んだ後に各疾患の評価および治療を学ぶことで、臨床実習を円滑に行えるだけの知識を獲得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、痛み①</li> <li>2. 痛み②</li> <li>3. 痛み③</li> <li>4. 痛み④</li> <li>5. 関節可動域制限</li> <li>6. 筋力低下</li> <li>7. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法①</li> <li>8. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法②</li> <li>9. 骨折(上肢)の作業療法①</li> <li>10. 骨折(上肢)の作業療法②</li> <li>11. 骨折(上肢)の作業療法③</li> <li>12. 屈筋腱損傷の作業療法①</li> <li>13. 屈筋腱損傷の作業療法②</li> <li>14. 末梢神経損傷の作業療法①</li> <li>15. 末梢神経損傷の作業療法②、まとめ、国家試験対策</li> </ol>		
教科書	『標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法』【編】岩崎テル子 (医学書院) 『標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学』【著】能登真一 (医学書院) 『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【監】神野哲 他 (羊土社)		
参考書	随時		
評価方法	出席状況、授業態度、試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	身体障害作業療法学Ⅰ(脳血管)		
担当教員	佐近 隆二		
学年	2年	学科	作業
単位数	5単位	時間数	150(30)時間
学習目標	各疾患の評価および治療を学ぶことで、臨床実習を円滑に行えるだけの知識を獲得します。 脳血管疾患の症状・障害の理解を基に、評価・検査の理解ができることを目標とします。 中枢神経障害を持つ対象者への作業療法についての知識・技術を習得する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 作業療法の全体像</li> <li>3. 急性期の作業療法</li> <li>4. 回復期の作業療法</li> <li>5. 生活期の作業療法</li> <li>6. 評価の流れ、全体像、ADL・IADL</li> <li>7. 面接、観察、意識・注意力・スクリーニング、片麻痺機能検査など</li> <li>8. 面接、観察、意識・注意力・スクリーニング、片麻痺機能検査など</li> <li>9. 面接、観察、意識・注意力・スクリーニング、片麻痺機能検査など</li> <li>10. 小括</li> <li>11. 画像 1</li> <li>12. 画像 2</li> <li>13. 画像 3</li> <li>14. 画像 4</li> <li>15. まとめ 国試対策</li> </ol>		
教科書	『標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法』【編】岩崎テル子 (医学書院) 『標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学』【著】能登真一 (医学書院) 『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【監】神野哲 他 (羊土社)		
参考書	随時		
評価方法	授業態度、課題への取り組み、出席状況、期末試験などを含め、総合的に評価する。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	義肢・装具学		
担当教員	久保田 源		
学年	2年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	義肢装具の種類・特性等を理解すること。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 義肢装具概論</li> <li>2. 体幹 装具</li> <li>3. 下肢 装具</li> <li>4. 義足</li> <li>5. 小テスト</li> <li>6. 上肢 装具</li> <li>7. 上肢 装具</li> <li>8. 上肢 装具</li> <li>9. 上肢 装具</li> <li>10. 上肢 装具</li> <li>11. 義手</li> <li>12. 義手</li> <li>13. 義手</li> <li>14. 義手</li> <li>15. 義手</li> </ol>		
教科書	『義肢装具と作業療法 評価から実践まで』【著】大庭潤平 他（医歯薬出版）		
参考書			
評価方法	小テスト・筆記試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年																														
科目名	発達障害作業療法																																
担当教員	中野 和代																																
学年	2年	学科	作業																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	<p>胎児期や出産時の問題で障がいを負った子に対して、適切な評価・治療を行うための基礎知識を学ぶ。</p> <p>① 正常発達の理解：月齢に従って運動および精神発達を経時的に理解する。  ② 国家試験に出題される発達スクリーニングテストを使用して発達評価ができるようになる。  ③ 原始反射と姿勢反射・反応について学習し、正常な運動発達について理解する。</p>																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について</td> <td>16. オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14</td> <td>17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)</td> </tr> <tr> <td>3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34</td> <td>18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69</td> <td>19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向</td> </tr> <tr> <td>5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)</td> <td>20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類</td> </tr> <tr> <td>6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)</td> <td>21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)</td> <td>22. 四肢麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>8. まとめと国家試験対策(1)</td> <td>23. 両麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)</td> <td>24. 両麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)</td> <td>25. 片麻痺</td> </tr> <tr> <td>11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)</td> <td>26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)</td> <td>27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)</td> <td>28. 脳性麻痺についての国家試験対策</td> </tr> <tr> <td>14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)</td> <td>29. 二分脊椎</td> </tr> <tr> <td>15. まとめと国家試験対策(2)</td> <td>30. まとめと国家試験対策</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について	16. オリエンテーション	2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14	17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)	3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34	18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)	4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69	19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向	5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)	20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類	6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)	21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)	7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)	22. 四肢麻痺(2)	8. まとめと国家試験対策(1)	23. 両麻痺(1)	9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)	24. 両麻痺(2)	10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)	25. 片麻痺	11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)	26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)	12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)	27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)	13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)	28. 脳性麻痺についての国家試験対策	14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)	29. 二分脊椎	15. まとめと国家試験対策(2)	30. まとめと国家試験対策
1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について	16. オリエンテーション																																
2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14	17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)																																
3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34	18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)																																
4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69	19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向																																
5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)	20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類																																
6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)	21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)																																
7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)	22. 四肢麻痺(2)																																
8. まとめと国家試験対策(1)	23. 両麻痺(1)																																
9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)	24. 両麻痺(2)																																
10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)	25. 片麻痺																																
11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)	26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)																																
12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)	27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)																																
13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)	28. 脳性麻痺についての国家試験対策																																
14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)	29. 二分脊椎																																
15. まとめと国家試験対策(2)	30. まとめと国家試験対策																																
教科書	『作業療法学ゴールドマスター・テキスト7 発達障害作業療法学』【著】神作一実(メジカルビュー) 『写真で見る 乳児の運動発達 生後10日から12ヶ月まで』【著】Lois Bly(協同医書出版) 『シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト』【著】田原弘幸、大城昌平(南江堂)																																
参考書	『理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2 運動発達と反射 反射検査の手技と評価』 【著】Marylou R. Barnes, Carolyn A. Crutchfield, Carolyn B. Heriza (医歯薬出版)																																
評価方法	出席状況、課題への取り組み、期末試験により総合的に評価する。																																
備考	・運動発達、姿勢反射についてはイメージしにくいと思うが、正常な発達の経過を理解しておくことは小児疾患だけでなく、その他の疾患を持つ対象者を評価・治療する際に助けとなるため、運動器系の構造と機能I、脳神経系の構造と機能、解剖生理学の内容を確認しながら学習を進めよう。 ・単元毎に国家試験問題を配布する。授業の復習として家庭学習を行うこと。																																

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	精神障害作業療法 I		
担当教員	沖辺 裕樹		
学年	2年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	精神障害作業療法の基盤となる理論について理解する。 精神障害作業療法における対象者の全体像を把握するために必要となる評価手段および評価のまとめについて理解する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神科作業療法の歴史</li> <li>2. 我が国の精神科医療状況、精神科医療状況の実際</li> <li>3. 自己理解</li> <li>4. 精神医学概論①</li> <li>5. 精神医学概論②</li> <li>6. 精神医学概論③</li> <li>7. 精神分析学と力動精神医学</li> <li>8. 行動理論</li> <li>9. 認知行動療法</li> <li>10. ストレス理論、リラクセーション</li> <li>11. 発達理論</li> <li>12. 来談者中心療法</li> <li>13. 薬物療法</li> <li>14. 生活技能訓練(SST)</li> <li>15. 作業療法での臨床の場と内容</li> </ol>		
教科書	『はじめての精神科作業療法』【著】山口芳文・渡辺雅幸（中外医学社）		
参考書			
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	臨床評価実習(OSCE)		
担当教員	熊野 巴之		
学年	2年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>目標:臨床評価実習が円滑に行うことができる。  概要:臨床実習前教育学の復習を行う。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨地実習必要なマナー・常識・バイタルチェック・コミュニケーション技法</li> <li>2. 臨床における評価技能①</li> <li>3. 臨床における評価技能②</li> <li>4. 臨床における評価技能③</li> <li>5. 臨床における評価技能④</li> <li>6. 臨床における評価技能⑤</li> <li>7. 臨床における評価技能⑥</li> <li>8. 臨床における評価技能⑦</li> <li>9. 臨床における評価技能⑧</li> <li>10. 臨床における評価技能⑨</li> <li>11. 臨床における評価技能⑩</li> <li>12. 臨床における評価技能⑪</li> <li>13. 臨床における評価技能⑫</li> <li>14. 臨床における評価技能⑬</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書	臨床実習前教育学で配布されたプリント		
参考書	随時		
評価方法	実技試験を実施。適切な評価方法、評価の円滑さ、コミュニケーション能力、安全性が考慮出来ているかが必須となる。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	作業療法国家試験演習 I		
担当教員	滝川 忠喜		
学年	2年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	120(60)時間
学習目標	作業療法に必要な評価の目的、方法を学び、理解することを目標とする。		
授業計画	1. 基礎医学 2. 基礎医学 3. 基礎医学 4. 基礎医学 5. 基礎医学 6. 基礎医学 7. 基礎医学 8. 基礎医学 9. 基礎医学 10. 基礎医学 11. 基礎医学 12. 基礎医学 13. 基礎医学 14. 基礎医学 15. 基礎医学	16. 臨床医学 17. 臨床医学 18. 臨床医学 19. 臨床医学 20. 臨床医学 21. 臨床医学 22. 臨床医学 23. 臨床医学 24. 臨床医学 25. 臨床医学 26. 臨床医学 27. 臨床医学 28. 臨床医学 29. 臨床医学 30. 臨床医学	
教科書	配布資料		
参考書	人体の構造と機能、基礎運動学、病気がみえる脳神経		
評価方法	筆記試験 マークシート形式		
備考			